

令和 8 年 3 月市議会定例会 福祉保健部 議案説明資料 (当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和 8 年度福祉保健部所管予算（案）総括表	1 頁
2	大学生による民生委員インターンシップについて（新規）	4 頁
3	大沢野健康福祉センター・大沢野老人福祉センター設備改修について	5 頁
4	富山市総合社会福祉センター給排水設備改修について	6 頁
5	保護施設物価高騰対策支援事業について	7 頁
6	心身障害者福祉施設等整備事業について	8 頁
7	障害福祉サービス事業所等物価高騰対策支援事業について	9 頁
8	高齢者補聴器購入費助成事業について（新規）	10 頁
9	とやまオレンジ・プロジェクト 2026 について（新規）	11 頁
10	高齢者施設物価高騰対策支援事業について	12 頁
11	介護人材移住支援事業について（新規）	13 頁
12	介護・看護資格取得者支援事業について（新規）	14 頁
13	介護サービス事業所等物価高騰対策支援事業について	15 頁
14	スマートウエルネス推進事業について（拡充）	17 頁
15	妊婦の R S ウイルス感染症予防接種事業について（新規）	18 頁

1 令和8年度 福祉保健部所管予算（案）総括表

【一般会計】

（単位：千円、％）

区分 予算科目（款・項）	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A－B	増減率 A／B
福祉保健部 合計	42,949,717	42,282,151	667,566	101.6
（款3）民生費	39,359,602	38,321,226	1,038,376	102.7
（項1）社会福祉費	34,050,251	32,808,989	1,241,262	103.8
（項3）生活保護費	5,309,350	5,477,225	△ 167,875	96.9
（項6）災害救助費	1	35,012	△ 35,011	0.0
（款4）衛生費	3,590,115	3,960,925	△ 370,810	90.6
（項1）保健衛生費	3,526,019	3,896,226	△ 370,207	90.5
（項2）環境衛生費	64,096	64,699	△ 603	99.1

【後期高齢者医療事業特別会計】

（単位：千円、％）

区分 予算科目（款・項）	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A－B	増減率 A／B
後期高齢者医療事業特別会計 合計	14,964,801	13,158,539	1,806,262	113.7
（款1）総務費	168,315	168,799	△ 484	99.7
（項1）総務管理費	145,678	146,256	△ 578	99.6
（項2）徴収費	22,637	22,543	94	100.4
（款2）後期高齢者医療広域連合納付金	14,777,095	12,970,640	1,806,455	113.9
（項1）後期高齢者医療広域連合納付金	14,777,095	12,970,640	1,806,455	113.9
（款3）諸支出金	18,391	18,100	291	101.6
（項1）償還金及び還付加算金	18,100	18,100	0	100.0
（項2）繰出金	291	0	291	
（款4）予備費	1,000	1,000	0	100.0
（項1）予備費	1,000	1,000	0	100.0

【介護保険事業特別会計】

(単位：千円、%)

区分 予算科目（款・項）	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A－B	増減率 A／B
介護保険事業特別会計 合計	47,370,279	45,491,131	1,879,148	104.1
（款1）総務費	829,617	817,131	12,486	101.5
（項1）総務管理費	378,276	366,164	12,112	103.3
（項2）徴収費	47,299	46,232	1,067	102.3
（項3）介護認定審査会費	399,616	404,302	△ 4,686	98.8
（項4）趣旨普及費	4,426	433	3,993	1,022.2
（款2）保険給付費	44,952,479	43,087,520	1,864,959	104.3
（項1）介護サービス等諸費	42,065,981	40,239,427	1,826,554	104.5
（項2）介護予防サービス等諸費	958,264	939,896	18,368	102.0
（項3）その他諸費	50,701	49,105	1,596	103.3
（項4）高額介護サービス等費	1,076,094	1,092,674	△ 16,580	98.5
（項5）高額医療合算介護サービス費	153,907	141,291	12,616	108.9
（項6）特定入所者介護サービス等費	647,532	625,127	22,405	103.6
（款3）地域支援事業費	1,356,775	1,364,164	△ 7,389	99.5
（項1）介護予防・生活支援サービス事業費	1,188,783	1,213,950	△ 25,167	97.9
（項2）一般介護予防事業費	63,543	62,280	1,263	102.0
（項3）包括的支援事業・任意事業費	104,449	87,934	16,515	118.8
（款4）基金積立金	54,205	39,651	14,554	136.7
（項1）基金積立金	54,205	39,651	14,554	136.7
（款5）諸支出金	177,203	182,665	△ 5,462	97.0
（項1）償還金及び還付加算金	20,150	20,150	0	100.0
（項2）繰出金	157,053	162,515	△ 5,462	96.6

【国民健康保険事業特別会計】

(単位：千円、%)

区分 予算科目（款・項）	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A－B	増減率 A／B
国民健康保険事業特別会計 合計	31,695,371	31,485,759	209,612	100.7
(款1) 総務費	438,017	438,265	△ 248	99.9
(項1) 総務管理費	360,680	362,477	△ 1,797	99.5
(項2) 運営協議会費	280	280	0	100.0
(項3) 趣旨普及費	2,744	3,078	△ 334	89.1
(項4) 特別対策事業費	74,313	72,430	1,883	102.6
(款2) 保険給付費	22,271,245	22,740,940	△ 469,695	97.9
(項1) 療養諸費	19,153,251	19,255,816	△ 102,565	99.5
(項2) 高額療養費	3,050,081	3,405,436	△ 355,355	89.6
(項3) 移送費	200	300	△ 100	66.7
(項4) 出産育児諸費	54,523	65,028	△ 10,505	83.8
(項5) 葬祭諸費	12,990	14,160	△ 1,170	91.7
(項6) 傷病手当金	200	200	0	100.0
(款3) 国民健康保険事業費納付金	8,622,215	7,949,534	672,681	108.5
(項1) 医療給付費分	5,814,809	5,407,192	407,617	107.5
(項2) 後期高齢者支援金等分	1,926,587	1,878,621	47,966	102.6
(項3) 介護納付金分	680,937	663,721	17,216	102.6
(項4) 子ども・子育て支援納付金分	199,882	0	199,882	
(款4) 保健事業費	284,740	280,221	4,519	101.6
(項1) 特定健康診査等事業費	202,966	202,245	721	100.4
(項2) 保健事業費	81,774	77,976	3,798	104.9
(款5) 基金積立金	35,543	33,688	1,855	105.5
(項1) 基金積立金	35,543	33,688	1,855	105.5
(款6) 公債費	2,000	1,500	500	133.3
(項1) 公債費	2,000	1,500	500	133.3
(款7) 諸支出金	40,611	40,611	0	100.0
(項1) 償還金及び還付加算金	40,611	40,611	0	100.0
(款8) 予備費	1,000	1,000	0	100.0
(項1) 予備費	1,000	1,000	0	100.0

【民生事務費】

2 大学生による民生委員インターンシップについて (新規)

[福祉政策課]

(1) 予算額 269千円

財源内訳	一般財源	269千円
------	------	-------

(2) 事業目的

大学生の視点から民生委員の現状や課題を捉え、市民への民生委員活動の周知啓発や負担軽減に繋がる施策を検討するもの。

(3) 事業内容

連携協定を締結している富山国際大学の社会福祉士を志す学生を対象に、民生委員インターンシップを実施する。

ア 訪問・活動体験

事前に民生委員制度や活動内容を学んだ後、民生委員に同行して一人暮らし高齢者宅の訪問や、地域福祉活動への協力、地区定例会への参加などの活動を体験し、民生委員活動や地域福祉の現状に対する理解を深める。

イ PRパンフレット作成など

訪問・活動体験や民生委員との意見交換を踏まえ、民生委員活動を周知するPRパンフレットや、担い手不足や負担軽減に対する提案レポートなどを作成する。

【民生事務費】

【老人福祉施設運営費】

3 大沢野健康福祉センター・大沢野老人福祉センター 設備改修について

[福祉政策課]

[長寿福祉課]

(1) 予算額 60,440千円

財源内訳	市債（公共施設等適正管理推進事業債）	54,300千円
	一般財源	6,140千円

(2) 事業目的

大沢野健康福祉センター・大沢野老人福祉センターは、平成9年のオープンから28年が経過し、設備の耐用年数の超過による劣化が生じている。

公共施設マネジメントアクションプランでは、修繕を行いながら施設を長寿命化するという方針が示されており、中長期的に施設を維持するために必要な設備について更新を行うもの。

(3) 事業内容

ア 濾過装置更新 25,493千円

大浴場（老人福祉センター）の濾過装置は、オープン当初から稼働し、タンクの発錆による腐食や配管等の劣化が進行していることから、更新を行うもの。

イ 空気調和機更新 31,680千円

プールの空気調和機は、オープン当初から稼働し、老朽化により冷暖房能力や空気清浄機能が大きく低下していることから更新を行うもの。

ウ 冷却水及び污水ポンプ更新 3,267千円

空調用冷却水ポンプ及び污水ポンプは、耐用年数を経過し、腐食等の劣化が進行していることから、更新を行うもの。

【民生事務費】

4 富山市総合社会福祉センター給排水設備改修について

[福祉政策課]

(1) 予算額 96,162千円

財源内訳	市債（緊急防災・減災事業債）	57,400千円
	（一般単独事業債）	29,000千円
	福祉基金	9,700千円
	一般財源	62千円

(2) 事業目的

富山市総合社会福祉センターは、昭和57年の竣工から42年が経過し、設備に経年劣化が生じている。

社会福祉法人富山市社会福祉協議会では、長寿命化計画を策定して同センターを計画的に修繕しており、施設を維持するために必要な給排水設備改修に対して、費用を補助するもの。

(3) 事業内容

給排水設備は、竣工時に設置されたものであり、配管には腐食がみられ劣化が著しく、令和2年には天井内の配管が破裂し漏水が発生しており、今後も同様な漏水が懸念されることから、今年度の実施設計に基づき屋内給排水設備を改修するもの。

【生活保護事務費】

5 保護施設物価高騰対策支援事業について

[生活支援課]

(1) 予算額 4,500千円

財源内訳 国庫補助	4,500千円
(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)	

(2) 事業目的

電気やガス、食材料費の物価高騰が保護施設の運営に影響を与えていることから、施設が利用者に安定したサービスの提供ができるよう、光熱費及び食材料費の一部を支援するもの。

(3) 事業内容

事業 類型	対象施設	施設数	定員数	支援金額		
				光熱費	食材料費	合計
				1年分 (令和8年4月～ 令和9年3月)	4か月分 (令和8年4月 ～7月)	
入 所 系	【県支援対象外施設】 救護施設 (八尾園)	1	180	20,000円	5,000円	定員 1人あたり 25,000円

【心身障害者福祉施設等整備事業費】

6 心身障害者福祉施設等整備事業について

[障害福祉課]

(1) 予算額 30,600千円

財源内訳	国庫補助金	20,400千円
	(社会福祉施設等施設整備費補助金)	
	一般財源	10,200千円

(2) 事業目的

社会福祉法人等が行う障害者福祉施設の建設に対し、国の補助金を活用し費用の一部を補助するもの。

(3) 事業内容

グループホームの創設 30,600千円

ア 法人名

特定非営利活動法人ひまわり

イ 整備目的

利用者家族の高齢化が進み、自宅において支援ができない場合に備えることや、障害のある方の地域移行のための居住の場の確保の観点から、共同生活援助事業所を整備する。

ウ 整備後の定員 7名

【心身障害者福祉推進事業費】

7 障害福祉サービス事業所等物価高騰対策支援事業について

[障害福祉課]

- (1) 予算額 37,652千円
- | | | |
|-----------------------|-------|----------|
| 財源内訳 | 国庫補助金 | 37,652千円 |
| (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金) | | |

(2) 事業目的

電気やガス、食材料費の物価高騰が続いており、障害福祉サービス事業所等の運営に影響を与えていることから、事業所等が利用者に安定したサービスの提供ができるよう、県と共に光熱費及び食材料費の一部を支援するもの。

(3) 事業内容

事業 類型	対象施設・事業所	施設・ 事業所数	定員数	支援金額		
				光熱費	食材料費	合計
				1年分 (令和8年 4月～令和 9年3月)	4か月分 (令和8年 4月～7月)	
入 所 系	施設入所支援、療養介護 共同生活援助、短期入所	74	1,671人	10,000円	2,500円	定員 1人あたり 12,500円
通 所 系	生活介護、自立訓練 就労移行支援、就労継続支援 就労選択支援	130	3,342人	3,400円	700円	定員 1人あたり 4,100円
	【県支援対象外施設】 地域活動支援センター 共同作業所	9	164人	6,800円	1,400円	定員 1人あたり 8,200円
訪 問 系	居宅介護、重度訪問介護 同行援護、行動援護 就労定着支援、自立生活援助 計画相談支援、地域移行支援 地域定着支援	101	—	17,000円	—	1施設あたり 17,000円

※報酬改定により、令和8年8月以降、食費の基準費用の引き上げがなされる予定があることから、物価高騰対策支援金についてはそれ以降実施しない。

【認知症総合支援事業費】

8 高齢者補聴器購入費助成事業について（新規）

[長寿福祉課]

(1) 予算額 10,714千円

〔 財源内訳 一般財源 10,714千円 〕

(2) 事業目的

加齢に伴う難聴は、認知機能低下のリスク要因として指摘されていることから、認知症予防の取組として、中等度難聴の高齢者に対し、補聴器購入費の一部を助成するもの。

(3) 事業内容

ア 対象者

次の①～④の全てに該当する者

- ① 市内に居住し、富山市に住民登録がある65歳以上の方
- ② 聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない方、又は交付対象でない方
- ③ 両耳の聴力レベルが、40dB以上70dB未満(中等度難聴)の者で、耳鼻咽喉科医から補聴器を使う必要があると診断された方
- ④ 市税の滞納がない方

イ 助成対象

- ① 管理医療機器認定を取得した新品の補聴器（市内に実店舗を持つ補聴器販売店で購入）
- ② 助成の対象とする補聴器の台数は、1人当たり1台（再申請不可）
- ③ 補聴器本体の購入に係る費用のみ助成対象
- ④ 交付決定後に購入する補聴器が対象（補聴器購入後の申請は不可）

ウ 助成額

補聴器本体の購入費用の1/2（上限額3万円）

エ 申請期間

令和8年6月から令和9年2月末

【認知症総合支援事業費】

9 とやまオレンジ・プロジェクト2026について（新規）

[長寿福祉課]

(1) 予算額 1,500千円

財源内訳	一般財源	1,500千円
------	------	---------

(2) 事業目的

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」施行（令和6年6月）を契機に求められる「認知症に対する正しい理解」と「新しい認知症観（＝認知症になっても、自分らしく、希望をもって暮らし続けることができるという考え方）」を、当該イベントを通じて広く市民に浸透させ、「共生社会」の実現に向けて、市民一人ひとりが当事者として考える契機とする。

(3) 事業内容

ア オレンジフラワー配布キャンペーン

認知症の日である9月21日に、富山駅南北自由通路でオレンジ色※の花を来訪者に配布。

※オレンジ色：認知症サポートのシンボルカラー

イ 認知症啓発ミニ展示・VR体験

- ・ 認知症に関するパネル展示（認知症基本法の概要、新しい認知症観、県・市の実施計画のポイント等）
- ・ VR認知症体験、富山市の認知症施策紹介コーナー
- ・ 認知症チェックリスト等の健康測定

ウ オレンジトラム走行

市内電車セントラム1車両に「認知症月間」専用のラッピング（オレンジ系デザイン）を施し、認知症月間である9月の1か月間走行し啓発を図る。

エ オレンジライトアップ

市内のランドマークとなる建物を、認知症の日（9月21日）に合わせオレンジにライトアップ。

【老人保護措置費】

10 高齢者施設物価高騰対策支援事業について

[長寿福祉課]

(1) 予算額 52,888千円

財源内訳 国庫補助金 52,888千円
(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

(2) 事業目的

電気やガス、食材料費の物価高騰が続いており、高齢者施設の運営に影響を与えていることから、事業所等が利用者に安定したサービスの提供ができるよう、県と共に光熱費及び食材料費の一部を支援するもの。

(3) 事業内容

事業 類型	対象施設	施設数	定員数	支援金額		
				光熱費	食材料費	合計
				1年分 (令和8年 4月～令和 9年3月)	4か月分 (令和8年 4月～7月)	
施設 入所系	軽費老人ホーム (ケアハウス)	9	571人	10,000円	2,500円	定員 1人あたり 12,500円
	有料老人ホーム (サービス付き高齢 者向け住宅を含む)	120	3,660人			

【介護職員人材確保事業費】

1 1 介護人材移住支援事業について（新規）

[介護保険課]

(1) 予算額 3, 0 0 0 千円

〔 財源内訳 一般財源 3, 0 0 0 千円 〕

(2) 事業目的

「日本一幸せ」な移住プロジェクトの一環として、県外から市内の介護保険サービス事業所等（以下「事業所等」という。）に就職する移住者を支援することにより、人材が不足する介護従事者の獲得を目指すもの。

(3) 事業内容

ア 介護福祉士等の資格を持つ県外からの移住者で、移住から1年以内に市内の事業所等に就職する者を対象とする。

イ 世帯構成や保有する介護保険サービスの提供に必要な資格等に応じて、移住奨励金を支給する。

ウ 市内の事業所等に3年以上勤務することを条件とする。

エ 支給金額

①基本金額 1 0 万円

②世帯構成による加算 世帯員1人あたり10万円加算。ただし、18歳以下の子供がいる場合、子供1人あたり20万円加算。

③保有資格加算 保有する資格別に下記のとおり加算

介護福祉士、看護師等（主に国家資格） 1 0 万円加算

介護福祉士実務者研修修了者 5 万円加算

介護職員初任者研修修了者 2. 5 万円加算

（例）夫婦（妻が介護福祉士）及び1歳の子供がいる世帯の場合

①10万円＋②10万円×1人＋20万円×1人＋③10万円×1人 ➡ 50万円を支給

【介護職員人材確保事業費】

1 2 介護・看護資格取得者支援事業について（新規）

[介護保険課]

(1) 予算額 2, 4 0 0 千円

〔 財源内訳 一般財源 2, 4 0 0 千円 〕

(2) 事業目的

介護又は看護の資格取得を目指して、県外から市内の養成機関に就学する学生を支援することにより、市内に定着する介護従事者や看護従事者の獲得を目指すもの。

(3) 事業内容

就学中の家賃の一部を補助するとともに、卒業後、介護福祉士や看護師、准看護師の資格を活かして、市内の事業所に就職した場合に就職祝い金を支給する。ただし、市内の事業所に5年以上勤務することを条件とする。

ア 就学中の家賃補助

①補助対象経費

就学中に居住している賃貸住宅の家賃（共益費、駐車場料金等は除く）

②補助率

月額家賃の2分の1（月額2万円を上限）

イ 就職祝い金（後年度支出）

就学中の市内での居住期間（月数）に応じて、居住期間に1万円を乗じた金額を支給する。

【介護サービス事業所等支援事業費】

1 3 介護サービス事業所等物価高騰対策支援事業について

[介護保険課]

(1) 予算額 1 0 3 , 9 1 7 千円

財源内訳 国庫補助金 1 0 3 , 9 1 7 千円
(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

(2) 事業目的

電気やガス、食材料費の物価高騰が続いており、介護保険サービス事業所等の運営に影響を与えていることから、事業所等が利用者に安定したサービスの提供ができるよう、県と共に光熱費及び食材料費の一部を支援するもの。

(3) 事業内容

事業 類型	対象施設・事業所	施設・ 事業所数	定員数	支援金額		
				光熱費	食材料費	合計
				1年分 (令和8年 4月～令和 9年3月)	4か月分 (令和8年 4月～7月)	
入所系	・介護老人福祉施設 ・介護老人保健施設 ・介護医療院 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 ・認知症対応型共同生活介護 ・短期入所生活介護	157	5,910人	10,000円	2,500円	定員 1人あたり 12,500円
通所系	・通所介護 ・地域密着型通所介護 ・小規模多機能型居宅介護 ・看護小規模多機能型居宅介護 ・認知症対応型通所介護	237	5,735人	3,400円	700円	定員 1人あたり 4,100円
訪問系	・訪問介護 ・訪問入浴介護 ・訪問看護 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ・夜間対応型訪問介護 ・居宅介護支援	320	—	17,000円	—	1施設 あたり 17,000円
	【県支援対象外施設】 ・介護予防支援	32	—	34,000円	—	1施設 あたり 34,000円

※報酬改定により、令和8年8月以降、食費の基準費用の引き上げがなされる予定があることから、物価高騰対策支援金についてはそれ以降実施しない。

【健康づくり推進事業費】

1 4 スマートウェルネス推進事業について（拡充）

[保健所地域健康課]

(1) 予算額 6, 8 7 4 千円

財源内訳	市債（デジタル活用推進事業債）	4, 1 0 0 千円
	一般財源	2, 7 7 4 千円

(2) 事業目的

ICTを活用した健康づくりとして、デジタル健康機器で得た測定データを自身で確認することをきっかけとし「はかる・みえる・きづく」ことで市民の行動変容を促すもの。また、測定データをとほ活アプリで一括管理できるようにし、経時的変化を見える化することにより、市民のさらなる行動変容を促すもの。

(3) 事業内容

とほ活アプリを改修し、市民がデジタル健康機器（体組成測定、野菜摂取量測定、骨量測定）の測定データをとほ活アプリ内で一括管理できるようにする。また、将来的に、蓄積されるデータを経時的・相関的に分析・評価できるようにする。

ア 消耗品費（測定用消耗品等） 1 3 8 千円

イ 委託料（とほ活アプリと連携機能開発業務費、保守業務費）
5, 1 3 6 千円

ウ その他の借上料（機材借上料） 1, 6 0 0 千円

【予防接種費】

15 妊婦のRSウイルス感染症予防接種事業について (新規)

[保健所保健予防課]

(1) 予算額 59,672千円

〔 財源内訳 一般財源 59,672千円 〕

(2) 事業目的

国において、令和8年度からRSウイルス感染症予防接種が定期接種化されたことから、4月から定期接種を開始し、母子免疫によって新生児及び乳児がRSウイルスに感染した際の重症化を予防するもの。

(3) 事業内容

ア 令和8年度接種対象者数（見込）

妊娠28週から37週に至るまでの妊婦 約1,860人

イ 実施方法

実施医療機関へ委託

ウ ワクチン接種委託単価

31,670円

エ 対象経費

①委託料

56,103千円

ワクチン接種委託料等

②扶助費

3,167千円

ワクチン接種償還払い

③その他事務費

402千円

接種券等印刷費・郵送料等